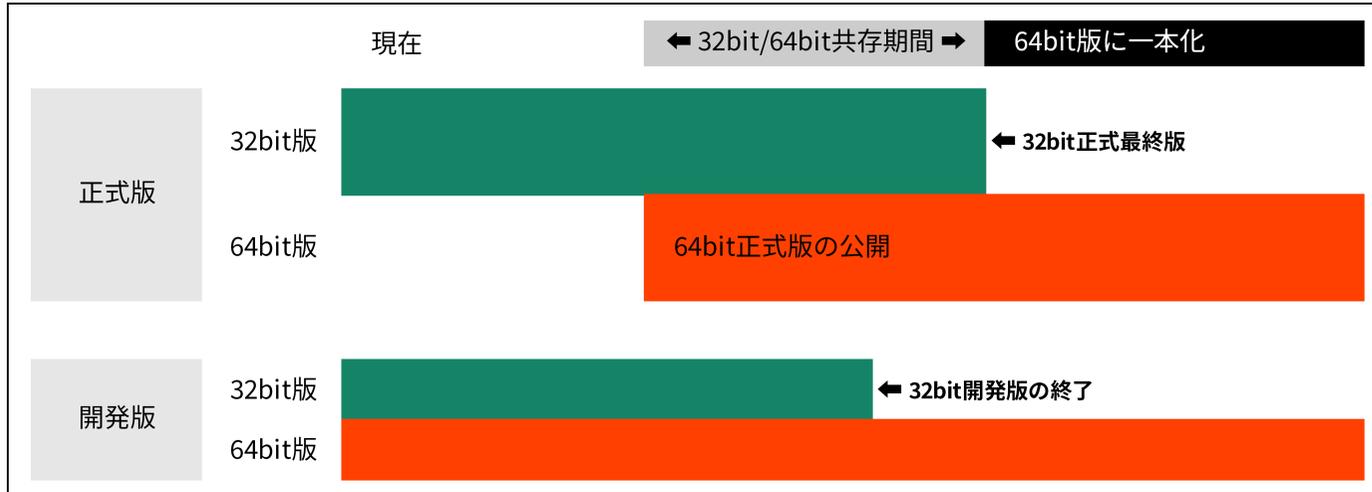


64bit版一本化へ準備

今後の正式版・開発版の公開スケジュール (イメージ)



(※現時点のイメージ。開発の進行状況により変更される可能性がある)

コンバータ、雛形も変換

64ビット版に付属するコンバータは、紙面ファイル以外に、箱組・見出しなど紙面素材の雛形も対象。32ビット版から上書きアップデートすると、これまで作成した雛形が再利用できる。

一方で、32ビット版との併用も可能。それぞれの実行ファイルを別フォルダに入れておくだけでよい。32版で紙面を作成し、それを64版で読み込み、編集できる。ただし、64版で保存した紙面は32版では読めない。

当面は、64ビット版との併用が望ましいかもしれ

32bit版との併用も可能

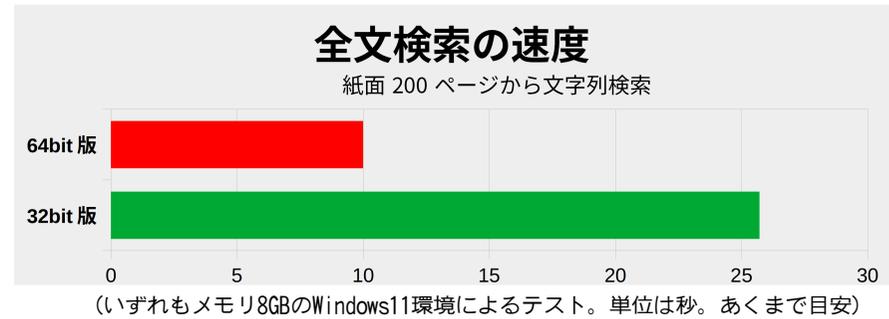
ない。もちろん、32ビット開発版だけを利用しているユーザーは、64ビット版に一気に移行しても構わない。ただし、32版で正常に動いていた処理が、動かない可能性はある。できれば、併用の上で、64版固有の不具合について作者に連絡してもらえれば開発の助けになる。

併用する場合、32bit版のexeファイルがあるフォルダ内のSettingフォルダを、64bit版exeのフォルダにコピー（既に存在する場合は上書きコピー）すれば、32bit版で作成した雛形がそのまま使える。



このPDFはCCライセンスで配布され、営利・非営利を問わず自由に利用できます。改変不可。

また32ビット版では表示に失敗する2億画素超の高画質写真でも問題なく表示されるケースも作者は確認している。このほか、数百単位の紙面から文字列を検索する場合も、作者のテスト環境では64ビットの方が倍以上、早かった。画面や操作法は32ビット版と全く違いはなく、新たに覚えることは特になく、64ビット版が、これまでの32ビット版と完全に同一挙動で安定的に動く保証はない。64ビットのプログラムでは、内部で扱うデータの精度や、使用する



開発面では、32ビット版と64ビット版でソースコードはほぼ共通だが、微妙な挙動の違い等により、それぞれの環境でのテストが必要になっている。一本化により、新機能の追加や不具合修正がより素早く行える可能性が高まる。

今後、当面は32・64ビット両方で開発版の公開を継続する。64版では、32版で作成した紙面ファイル等を自動で変換して読み込むコンバータ付

一般に64ビット版OSでは、メモリを大量に使う処理などで64ビットプログラムの方が高速とされる。朝刊太郎改でも実際に、1億画素超えの高品質画像の読み込みや編集は、64ビット版の方が早い。テストでは、7割程度に短縮された。

また32ビット版では表示に失敗する2億画素超の高画質写真でも問題なく表示されるケースも作者は確認している。このほか、数百単位の紙面から文字列を検索する場合も、作者のテスト環境では64ビットの方が倍以上、早かった。

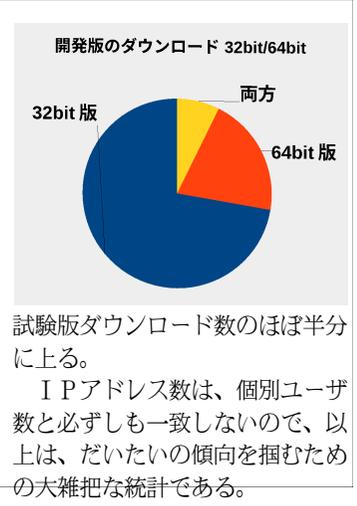
また現在の動作速度にさほど不満がない場合、切り替えても大きな効果は実感できない可能性がある。32ビット版の正式版がどの段階で最終バージョンとなるかは未定。64ビット版の安定化には、64ビットプログラムを作成するための開発環境の機能や安全性の向上も影響する。

新聞専用DTPフリーソフト「朝刊太郎改」は、配布プログラムの将来的な64ビット版一本化に向けて準備を始めた。標準となった64ビットOSの性能をフルに生かし、32ビット版との両方を開発する煩雑さを避けるのが狙い。まずこれまで試験公開版扱いだった64ビット版を開発版に「昇格」。過去に32ビット版で作成した各種データがそのまま使えるコンバータ付形式の配布を始めた。

まず開発版に「昇格」 データの自動変換実装

64ビット試験版が初公開された2023年12月移行の集計では、開発版・試験版の総ダウンロード数は3500件超。IPアドレス別に集計・分類すると、7割強は32ビット版の開発版だけだが、64ビット試

験版だけのダウンロードも2割を超す。また両方もダウンロードした件数も7割ほどある。つまり3割近くは64ビット版。また32ビット版で作成した紙面データを64ビット版用に変換するコンバータのダウンロード数は、



臨時号

銀河系太陽系第3惑星
太郎通信舎

朝刊太郎改の置き場
<https://chokantaro.com/>



chokantaro.com

重い操作 高速化

固有の不具合懸念も